

学会企画シンポジウム 3

小学校の学習活動の現状と課題

——探究・協働学習と学級集団づくりのあり方を問う——

- 企画・司会 : 瀬尾美紀子 (日本女子大学)
- 企画・話題提供 : 河村茂雄 (早稲田大学)
探究学習・協働学習を活性化させる学級集団づくりと
学級集団の状態に応じた展開のあり方
- 話題提供 : 富永香羊子 (目白大学・元小学校校長)
探究学習・協働学習と学級集団づくりとの関連に関する
小学校現場の実態
- 話題提供 : 市川伸一 (東京大学)
深い習得と探究・協働の統合を目指したカリキュラムと
授業設計の実装に向けて
- 話題提供 : 玉野麻衣 # (大田区立調布大塚小学校)
小学校現場での基礎知識の習得と探究学習・協働学習
とを統合する学習活動の取り組み
- 指定討論 : 鹿毛雅治 (慶應義塾大学)

企画趣旨 :

2024 年度の児童生徒の「経年変化分析調査」(文部科学省)の結果から、小学校における児童の学力低下が改めて問題視されている。その要因は様々指摘されているが、本企画者は、2020 年の学習指導要領改訂以降に「探究学習」「協働学習」の重視がみられ、○基礎知識の習得、○協働学習の前提となる協働する力の育成、これらが不十分なまま「探究学習」「協働学習」が実施されたことで、学校現場では学習活動がどっちつかずになってしまっている可能性がある点に注目したい。学級担任制をとる小学校の学習活動をより充実させるために、以下の2点について学校現場の問題について検討したい。

- ①基礎知識の習得の学習活動と、探究学習や協働学習の学習活動とを統合する学習活動の展開のあり方
 - ②探究学習や協働学習を活性化させる学級集団づくりのあり方と、学級集団の状態に応じた探究学習や協働学習を展開する指針
- 研究者だけではなく実践者も交えて、本テーマについて多角的に議論したい。